

タバココナジラミが媒介するウイルス病に 注意しましょう！

○タバココナジラミによる被害は、直接被害と間接被害があります。



○直接被害は新芽や葉裏などに寄生し、植物の汁液を吸って加害します（師部から同化産物等の汁液を吸収します）。多発生すると被害も無視できず、生育が著しく悪くなり、葉色が淡くなったり、タバココナジラミの排泄物の上にすす病が繁殖して黒くなることもあります。

→タバココナジラミの寄生する野菜や花（いちご、トマト、なす、きゅうり、アスパラガス、トルコギキョウ等）にとって問題です。

○間接被害はウイルス病を媒介することです。ウイルス病に感染した植物の汁液を吸ったタバココナジラミが、次に健全な植物に移動して汁液を吸う時にウイルスが侵入し感染、発病します。

※トマトやトルコギキョウでは、**トマト黄化葉巻ウイルス（TYLCV）**によるウイルス病が発病し、大きな被害がでます（図1）。

【トマト黄化葉巻病の病徴】

○最初に新葉が葉縁から退色しながら葉巻症状となります。

○その後、葉は表側に巻き、葉脈間が黄化萎縮します。さらに病勢が進行すると、頂部が叢生（そうせい）し、株全体が萎縮します（図1）。

○発病後は開花しても結実せず、大きく減収します。

【トルコギキョウ葉巻病の病徴】

○発病部位より上の節間が短縮し、萎縮します（図2）。

○葉は小型化するとともに、葉脈が隆起し葉表を内側にして巻葉し、著しく生育が抑制されます。



図1 黄化葉巻病を発病したトマト



図2 葉巻病を発病したトルコギキョウ

タバココナジラミの防除と伝染源・飛来源 の除去が重要な防除対策です！

【タバココナジラミをハウスに入れない】

- ハウスの開口部に0.4mm目以下の防虫ネットを張る。
- ハウス周辺に防草シートや光反射シートを設置する。
- ハウス周辺の雑草を除去する。
- ハウス内に花や観葉植物を持ち込まない。

【タバココナジラミをハウス内で増やさない】

- 育苗時や定植時に粒剤を施用する。
- 黄色粘着板を設置し、タバココナジラミの捕殺と発生状況を把握する。
- 発生初期に異なる系統の薬剤をローテーション散布する。
- 発病株は速やかに抜き取る。
- 発病株は、ビニル袋等で密閉密封し枯死させてから処分する。

【タバココナジラミをハウス外に出さない】

- 栽培終了後、地際部を切断した後、ハウス内が40℃前後を維持する時間が1日平均7時間以上確保できる条件で3日間以上蒸し込み処理し、タバココナジラミを確実に死滅させる。

いちご、トマト、なす、きゅうり、アスパラガス、トルコギキョウのコナジラミ類に登録のある主な薬剤
(平成28年5月31日)

農薬の名称	希釈倍数又は使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法
ベストガード粒剤	1~2g/株(トマト) 1g/株 (なす、きゅうり)	育苗期	1回	株元処理
	1~2g/株 (トマト、なす、きゅうり)	定植時		植穴処理 土壌混和
ベストガード水溶剤	1000~2000倍 (トマト、なす、きゅうり)	収穫前日まで	3回以内	散布
	1000倍(アスパラガス)			
ベリマークSC	400倍 (トマト、なす、きゅうり)	育苗期後半 ~定植当日	1回	灌注
	800倍(トマト、きゅうり)			
アニキ乳剤	1000~2000倍 (トマト、なす)	収穫前日まで	3回以内	散布
	1000倍(きゅうり)			
コルト顆粒水和剤	3000~4000倍(いちご)	収穫前日まで	3回以内	散布
	4000倍(トマト、なす、 きゅうり、アスパラガス)			
エコピタ液剤	100倍(いちご)	収穫前日まで	-	散布
	100~200倍(トマト)			
アクタラ顆粒水溶剤	2000倍(トルコギキョウ)	発生初期	6回以内	散布



タバココナジラミ
(体長1.2mm)